

旧正月の二月十九日には、祖谷の旨さんか
言う様に雪が降り、寒い一日だった。
でも、この日がすぎると、一気に春めいて
きました。

鹿より先にフキノトウを見つけ、テラコ
ラとフキミソにして旨人なび春を味わい
ました。

福寿草も「限定版」では早く見られるま
つになつて来た。陽当りの良い所ではホ
トケノガ、ハコベ、オオイヌノフグリが風にゆ
れたり、地面に張りついていた様にヤマユリ
ソウが美しい。
私の狩り場らしい山野草の一つのユキワリイ
チゲもなつたりと咲きはじめました。



甲上三郎の祖谷神社

まちに狩

春だ

毎年咲いている
場所に行くのと、狩
つていく山を楽しんだ。
あんな、やると春が近
くに感じるとき。
アササイとニワトコが早
くも新芽が葉の型が
見えています。クロモシも花がふくらんで来たので
あと、数日だけ黄色の花を見えそうぞう。

ウグイスも初鳴きしました。
気温があがる十時頃に比べると凍つてくるこま
山中では、ミニサヤのよく通る音が大きくなつて
きました。アオゲラのドラミングさえも、暖かい音に
なつて響きます。本当に狩りにまつた春です。

身体を動かしても軽く感じる様になりました。
一枚着衣が少ないという事は、さびやうがらが、葉
が朝陽に見えたりと、物をまわりのええ気分、飛びまわつてい
たりと、生き生きする物すべてが動きはじめたのを感じ
る。一面、木々の色が変化しはじめたのを感じ
る。山々の落葉樹の固まりが、うすい綿ぼうしめ、森
にふくらんでいます。



惰眠

から...
コタツに入つて、コーヒー飲ん
で読書、そして春寝。
そんな惰眠の日常からめ
じめないと、もう今年も二
月が終つてしまふ。
明るくなるまで来たと思
ひたら、三月です。
鳥や虫たちに負けず、
春を感じる動きはじめ
ないと、いけない。
岩川の雪どけ水を飲んで
みても、いや美味った。
よっちゃん、起きるかー！

